

当社は、「社会の新たな価値を創造し、我々の「つなげる力」で発展させ、いちばん信頼される企業となる。」をビジョンに掲げています。また、アサヒグループは脱炭素社会の実現のため、2040年までにScope1,2,3においてCO2排出量を“ネットゼロ”を目指す「アサヒカーボンゼロ」を設定しております。

本計画では、群馬工場に飲料製造ラインの更新投資を中心に各種施策を通じて、新たな付加価値の創出を実現し、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2026年3月～2028年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を20.4%以上向上させる。

3. 前向きな取組みの内容

群馬工場における製造ラインの更新投資やユーティリティ設備の更新投資・運用改善を行い、生産能力向上や省エネを図ることで、付加価値額の向上およびCO2排出量の削減を実現し、目標年度に炭素生産性を20.4%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<群馬工場の外観>



<群馬工場で製造する主な製品>



認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2026年 3月 27日

2. 認定事業適応事業者の名称

アサヒ飲料株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は、お客様・お取引先様・社会にご提供する価値を「社会との約束」として宣言し、私たちの商品やサービスを通じて、お客様のココロとカラダに驚きや感動、そして笑顔を届けることをお約束することを意識し、日々の仕事に取り組んでおります。また、アサヒグループは、気候変動への中長期目標「アサヒカーボンゼロ」を設定しています。「アサヒカーボンゼロ」は、2040年にScope1,2およびScope3にてGHG排出量“ネットゼロ”を目指すものであり、2030年にScope1,2において70%削減、Scope3において30%削減を目標とするものです。

本計画では、成長を支える戦略投資である群馬工場に飲料製造ラインの更新投資を中心に各種施策を通じて、新たな付加価値の創出を実現し、炭素生産性の向上を図ります。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させることまたはその生産し、もしくは販売する商品もしくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標。

2026年度より事業適応を開始し、2028年度(目標年度)までに、事業所の炭素生産性を20.4%向上させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2028年度（計画終了年度）に、経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称およびその分類コード）

飲料・たばこ・飼料製造業（10）

（選定の理由）

飲料を主体とした製造事業を営んでおり、主業に関連する飲料製造ラインを計画の対象とするため。

(6) 事業適応の具体的内容

本計画は、群馬工場における製造ラインの更新投資等で、生産能力向上や省エネを図る投資である。

また、計画期間中においては、税額控除対象外設備においても、ユーティリティ設備の更新投資の計画や製造ラインの運用改善を行い、付加価値額の向上およびCO2排出量の削減取組を進め、炭素生産性の改善を図る。

これらの取組を通じて、目標年度（2028年度）までに事業所の炭素生産性を20.4%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期および終了時期

開始時期：2026年3月

終了時期：2028年12月